

「平成 27 年 1～3 月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

—業況横ばい、小幅な動き続く—

静岡県西部地域しんきん経済研究所は、県西部地域の中小企業を対象に行なった「中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご報告します。詳細については別添「景況レポート」をご参照ください。

1. 調査概要（調査／静岡県西部地域しんきん経済研究所、協力／浜松商工会議所）

調査時期	平成 27 年 3 月 2 日～10 日
調査対象	静岡県西部地域の中小企業 636 社
回収状況	回収数 602 社（回収率 94.6%）
調査方法	調査表を用いた面接聴取（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

2. 調査結果

①平成 27 年 1～3 月期の業況

県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－13.3 となった。平成 26 年 12 月の前回調査（－13.0）と比べて 0.3 ポイントの悪化、平成 26 年 6 月以降は小幅な動きにとどまっている。

②平成 27 年 4～6 月期の見通し

次期の業況 DI は 4.8 ポイント悪化の－18.1 を見込む。

③主な業種別の動向

業種	調査数	業況DI			動向
		前期	今期	次期見通し	
二輪車部品製造	55	-16.4	-27.3	-25.5	業況DIは10.9ポイント悪化し、三四半期ぶりの悪化。人手DIはマイナス水準（＝人手不足）が続く。
自動車部品製造	69	-14.5	-8.7	-24.6	業況DIは5.8ポイント改善し、二四半期ぶりの改善。売上や受注が好調とのコメントも多くみられる。
機械部品製造	62	0.0	0.0	-3.2	業況DIは前回と同じ0.0。売上が増加しているとのコメントが多くみられる。
楽器部品製造	19	15.8	0.0	-15.8	業況DIは15.8ポイント悪化も人手不足や残業時間増加が続く。
繊維製造	25	0.0	-4.2	12.5	業況DIは4.2ポイントの悪化。原材料価格DIは高止まりの状況。
卸売業	86	-17.4	-25.6	-30.2	業況DIは8.2ポイント悪化し、三四半期ぶりの悪化。同業者での競争が激しいとのコメント多い。
小売業	65	-35.3	-44.6	-40.0	業況DIは9.3ポイント悪化し、二四半期連続の悪化。6割が「売上の停滞・減少」を課題に。
建設業	71	-4.2	2.9	-21.4	業況DIは7.1ポイント改善し、四半期ぶりのプラス水準。年度末を迎え業況良好とのコメントも。
不動産業	38	-2.6	0.0	-10.5	業況DIは2.6ポイント改善し、三四半期ぶりのマイナス解消。在庫DIはマイナス水準（＝在庫不足）が続く。
飲食・宿泊・レジャー等	14	-26.7	-7.1	-14.3	業況DIは19.6ポイント改善し、二四半期連続の改善。人手DIのマイナス水準（＝人手不足）が続く。

本件のお問い合わせ先

特非）静岡県西部地域しんきん経済研究所 / 神谷 / TEL053-452-1510

〒432-8036 / 浜松市中区東伊場 2 丁目 7-1 浜松商工会議所会館 9 階